

学 則

研修の名称	ヘルパーステーション KEI 愛 重度訪問介護従業者養成講座
研修事業者の名称	株式会社 KE I
研修事業の指定番号	愛障 149号
事業所の名称	ヘルパーステーション KEI 愛
事業所の所在地及び 電話番号	住所:愛知県名古屋市西区南川町 32 番地の 1 レジデンス南川 502 号 電話番号: 052-502-3223
研修の種類	重度訪問介護従業者養成研修 基礎課程 重度訪問介護従業者養成研修 追加課程
研修の目的	<p>重度障害者が地域で生活していくためには、多くのヘルパーの支えが必要です。</p> <p>「買い物に行きたい!」「おしゃれをして出かけたい!」「恋愛をしたい!」「自分が好きな場所で自分らしく暮らしたい」という思いは、障害の有無や程度を問わず、誰もが望む当たり前の日常です。</p> <p>本研修では、介助技術のみならず障害のある当事者の思いや個性、障害特性に目を向けそれらを大切に、サポートできるヘルパーの育成を目指します。</p>
研修実施の方法	<p>講義:対面で実施する。</p> <p>実習:対面で実施する。</p>
講義及び演習の実施 場所	<p>株式会社 KE I KE I ステーションありか</p> <p>(名古屋市西区押切 2 丁目 1 番 30 号押切プラザビル 1 階)</p>

<p>実習施設</p>	<p>① 株式会社 KEI ヘルパーステーション KEI 愛 (名古屋市西区南川町 32 番地の 1 レジデンス南川 502 号)</p> <p>② 株式会社 KEI KEI ステーションありか (名古屋市西区押切 2 丁目 1 番 30 号 押切プラザビル 1 階)</p>
<p>募集期間</p>	<p>令和 4 年 1 0 月 2 4 日 (月) ~ 令和 4 年 1 1 月 2 5 日 (金)</p>
<p>研修実施日及び 修業時間</p>	<p>講義 1 日目： 令和 4 年 12 月 4 日 (日) 10 時~18 時 20 分</p> <p>講義 2 日目：令和 4 年 12 月 11 日 (日) 10 時~18 時 20 分</p> <p>実習 A 班：令和 4 年 12 月 12 日 (月) 10 時~17 時</p> <p>実習 B 班：令和 4 年 12 月 14 日 (水) 10 時~17 時</p> <p>実習 C 班：令和 4 年 12 月 19 日 (月) 10 時~17 時</p> <p>実習日程は、上記 3 つの日程から選択する。</p>
<p>カリキュラム</p>	<p>別紙カリキュラム記載</p>
<p>使用する教材</p>	<p>① 重度障害者の地域生活等に関する講義 テキスト名「重度障害者の地域生活とは？」</p> <p>② コミュニケーション技術に関する講義 テキスト名「生活の中のコミュニケーションとは？」</p> <p>③ 基礎的な介護技術に関する講義 テキスト名「基礎的な介護技術に関する講義」</p> <p>④ 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する 講義</p>

<p>試用する教材</p>	<p>テキスト名「医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義」</p> <p>⑤ 緊急時の対応及び危険防止に関する講義</p> <p>⑥ テキスト名「緊急時の対応及び危険防止に関する講義」</p>
<p>講師及び担当科目</p>	<p>加藤 眞澄（介護福祉士）</p> <p>担当科目</p> <p>コミュニケーション技術に関する講義</p> <p>基礎的な介護技術に関する講義</p> <p>外出時の介護技術に関する実習</p> <p>山本 俊介（社会福祉士）</p> <p>重度障害者の地域生活等に関する講義</p> <p>重度肢体不自由者のサービス提供現場での実習</p> <p>中藤 裕（社会福祉士・介護福祉士）</p> <p>基礎的な介護技術と重度障害者とのコミュニケーション技術に関する実習</p> <p>（2）</p> <p>山本 純輝（介護福祉士）</p> <p>基礎的な介護技術と重度障害者とのコミュニケーション技術に関する実習</p> <p>（1）・（2）</p>

講師及び担当科目	<p>小濃 哲治（理学療法士）</p> <p>医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義</p> <p>緊急時の対応及び危険防止に関する講義</p>
研修終了の認定方法	<p>各科目の修了時に確認テストを実施し、そのテストの合計点が100点満点中80点以上だった者に修了証を交付する。</p>
受講資格	<p>本講座において全ての日程を受講できる方</p>
研修の定員	<p>10名</p>
受講の手続き	<p>ホームページより、必要事項を記入し、送信する。</p>
研修実施の条件	<p>募集期間内において、2名以上受講者が集まらなかった場合には、研修を中止する。</p>
実習実施日の選択について	<p>(1) 下記の実習科目については、実施日を選択制とする。</p> <p>① 基礎的な介護技術と重度障害者とのコミュニケーション技術に関する実習（2）（科目番号:6211）</p> <p>② 重度肢体不自由者のサービス提供現場での実習（科目番号：7211）</p> <p>(2) 受講希望者は、実習候補日の中から希望の日程を申込時に入力し送信する。</p> <p>(3) 希望日が「1日の受け入れ可能人数」を超過した場合、他の候補日の中で受け入れができる日程で受け入れる。</p>

<p>受講料の支払い方法及び取り扱い</p>	<p>受講料：20.000 円（消費税・テキスト代含む）</p> <p>支払方法：指定口座振込</p> <p>研修中に生じた交通費等の費用は、受講生の負担とする。</p>
<p>受講料返金の有無</p>	<p>研修実施の要件を満たさず、研修が行われなかった場合は、全額返金する。</p> <p>その他、主催者が認める場合に限り、受講料の一部、または全額返金する。但し、振込の際にかかった手数料は、いずれの場合も返金の対象としない。</p>
<p>広報の方法</p>	<p>① 弊社ホームページに募集要項の掲載</p> <p>② 研修案内の配布</p>
<p>情報開示の方法 (ホームページアドレス)</p>	<p>https://own-your-life.jp/</p>
<p>受講中の事故対応</p>	<p>弊社が加入している保険で対応する。</p>
<p>荒天時の対応</p>	<p>研修実施日の午前 6 時の時点で警報が出ている場合には研修を延期、または中止する。</p>
<p>遅刻の取扱い</p>	<p>① 5 分以上遅刻した場合は、欠席とみなす。</p> <p>② 遅れる旨の連絡がなかった場合には、5 分以内であっても欠席とみなす。</p> <p>③ 3 回以上、遅刻をした場合には、受講の取消しとなる。</p>
<p>補講の取扱い</p>	<p>原則として補講は行わない。</p>

補講の取扱い	ただし、やむを得ない事由を主催者が認めた場合に限り3ヶ月以内で補講を行う。
受講の取消し	<p>① 3ヶ月以内に補講が行えなかった場合</p> <p>② 3回以上遅刻をした場合</p> <p>③ 受講態度に問題があり注意をしても改善が見られない場合</p>
個人情報の取扱い	運営上知り得た個人情報については、弊社の責任で管理し、研修に関する連絡および書類作成のみで使用する。
修了証の紛失 再発行の取扱い	修了証を紛失したと申し出があった場合、修了証を再発行する。
修了者の登録	研修修了者名簿は、研修終了後に愛知県に提出され管理される。
新型コロナウイルス感染症 に対する予防対策	<p>(1) 事業所が講じる対策</p> <p>感染症予防の観点から次の対策を講じる。</p> <p>① 受講生の健康観察の実施</p> <p>受講家提示に健康チェックシートを郵送またはメールにて送付し受講生には受講当日に提出していただく。</p> <p>② 実習は、少人数で実施する。</p> <p>実習の1日の受け入れを3人～4人までとし可能な限り密集を避ける。</p> <p>③ 講義・実習中は、講師及びスタッフはマスクを着用し対応する。</p> <p>④ 講義室・実習室は、ドアを開放し、窓を開ける。または、空調の</p>

<p>新型コロナウイルス感染症 に対する予防対策</p>	<p>運転で換気を行う。</p> <p>⑤ 手指消毒用の消毒液を設置</p> <p>⑥ 研修実施中、机・椅子などの消毒を適宜行う。</p> <p>⑦ うがい用コップを洗面所に用意</p> <p>⑧ 受講生に手洗い・うがいをスタッフより推奨する。</p> <p>⑨ 受講生用に予備のマスクを用意</p> <p>(2) 受講生に協力していただきたいこと</p> <p>受講されるにあたり下記についてご理解・ご理解・ご協力くださいますようお願い致します。</p> <p>① 受講生の健康観察の実施</p> <p>研修に参加される前にご自身の体調管理をしてください。</p> <p>受講決定後に郵送または、メールにて「健康チェックシート」を送ります。受講当日に提出してください。</p> <p>② 発熱など風邪の症状がみられた場合には、受講を取りやめていただきます。</p> <p>③ 講義室・実習室への入室の際は検温と手指消毒にご協力ください。検温の結果、体温が37.5℃以上あった場合には、研修への参加を取りやめていただきます。</p> <p>④ 研修中は、マスクの着用をお願い致します。</p> <p>⑤ 受講中、体調が優れない場合には無理をせずスタッフ・または講</p>
----------------------------------	---

新型コロナウイルス感染症 に対する予防対策	師にお申し出ください。 ⑥ 万一。②・③・⑤に該当し、講義または実習に参加できなかった場合には、それまでの研修への出席状況を踏まえ主催者側で協議の上、受講料の返金または日程の再調整などの対応をします。
研修担当者	青木 紗耶（ヘルパーステーション KEI 愛 管理者）
苦情対応窓口	加藤 雅昭
研修責任者	加藤 啓太（株式会社 KE I 代表取締役）